

研究開発を  
加速させる

# ChromSword

## HPLCメソッド開発ウェビナー2024 No.6

～C18(ODS)で困った時のセカンドカラム選定のコツ～

対象者:メソッド開発研究者

日時 2024/11/15(金) 14:00～

媒体 Zoomを利用したウェビナー

申込方法 WEBサイトより  
お申し込みください



<http://www.chromsword.co.jp/seminar/>

定員 500名(先着順)

参加費 無料

### 内容

今年最後のウェビナーは、株式会社クロマニックテクノロジーズ社の演者をお招きして、C18(ODS)で困った時のセカンドカラム選定のコツをご講演いただきます。非常に興味深い内容となっております。

HPLCのメソッド開発を効率良く行い、研究を加速させる事は、非常に重要です。当社からはAIを利用してメソッド開発を効果的に行うための各種ソフトウェアのご紹介と中分子や抗体を利用したメソッドの確立の仕方を解りやすくご紹介いたします。

詳細内容は裏面をご参照ください。

主催 :クロムソードジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町1-10-10 <[www.chromsword.co.jp](http://www.chromsword.co.jp)>

# ChromSword

## HPLCメソッド開発ウェビナー 2024 No.6

～C18(ODS)で困った時のセカンドカラム選定のコツ～

### [詳細内容]

対象のお客様: HPLCメソッド開発研究者

13:55-14:00	受付	
14:00-14:10	オープニング	
14:10-15:10	タイトル	C18(ODS)で困った時の、セカンドカラム選定のコツ 演者: 小山 隆次氏(カラムコンシェルジュ)
	概要	<p>ファーストカラムとして選ばれる機会が多いC18(ODS)ですが、疎水性に基づく選択性が主体であることから、類縁化合物が対象となる分析系では時に不向きとなる事が考えられます。そのような局面で分離改善に有用とされるのが、PFP、Biphenyl等の極性カラム群です。</p> <p>本セミナーでは、カラムの種類によってどのような相互作用を引き起こし、選択性の結果を与えるかを具体的な事例と共に紹介します。又、高不活性化法とコアシェル粒子の融合によって実現した、高耐久・高効率化のための当社基盤技術について解説します。</p>
15:10-15:20	Q&A、休憩	
15:20-16:20	タイトル	AIによるHPLCメソッド開発の有用性とワークフロー
	概要	<p>当社のソフトウェアは研究を加速させるためのツールとして各分野で利用されています。そこで今回は、それらを有効に利用するワークフローと各種ソフトウェアについて解りやすくご紹介いたします。</p> <p>また、新しくOffLine5.2が加わりました。機能の特長をご紹介いたします。</p> <p>さらに、中分子、抗体分析を例にどのように当社ソフトウェアを利用すると効果的かを具体例を交えてご紹介いたします。</p>
16:20-16:30	Q&A	

お問合せ

お申し込みはこちら

 <http://www.chromsword.co.jp/seminar/>

  
ChromSword  
クロムソードジャパン株式会社